

会 議 録

1 会議名

令和3年度 第1回三郷区地域協議会

2 報告

令和2年度地域活動支援事業の完了について（公開）

3 議題（公開・非公開の別）

（1）自主的審議事項「三郷の郷土芸能無形文化財『春駒』の伝承について」（公開）

（2）自主的審議事項「三郷地区公民館の整備について」（公開）

4 開催日時

令和3年4月20日（火） 午後6時30分から午後7時48分まで

5 開催場所

三郷地区公民館 集会室

6 傍聴人の数

2人

7 非公開の理由

—

8 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：竹内浩行（会長）、伊藤善一（副会長）、保坂裕子（副会長）

市村 学、伊藤光夫、小山和美、荳戸 正、平田 清、平田伸一、

山口典夫、吉田一彦、渡部弘美（欠席者なし）

・事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、五十嵐主任

9 発言の内容

【五十嵐主任】

・12人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・同条例第8条第1項の規定により、議長は竹内会長が務めることを報告

【竹内会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：吉田委員、伊藤 光夫 委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

- ・資料により説明

【竹内会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

— 次第3報告（1）令和2年度 地域活動支援事業の完了について —

【竹内会長】

次第3報告（1）令和2年度 地域活動支援事業の完了について に入る。事務局より説明を求める。

【堀川センター長】

- ・資料No.1により説明

【竹内会長】

今ほどの説明に質疑を求めるがなし。

【竹内会長】

以上で次第3報告（1）令和2年度 地域活動支援事業の完了についてを終了する。

— 次第4議題（1）自主的審議事項「三郷区の郷土芸能 無形文化財『春駒』の伝承について」 —

【竹内会長】

次第4議題（1）自主的審議事項「三郷区の郷土芸能 無形文化財『春駒』の伝承について」に入る。

前回の会議では、「春駒」を知ることから始めることにした。大変貴重な資料を小

山委員より借りて正副会長で拝見した。「春駒」の歌詞と踊りに関する資料がたくさん入っており、私もいろいろ調べたが、それ以上のものがあったことに非常に驚いている。また、ビデオテープがあったので、今回DVDに変換して、劣化しない媒体にできたことも一つの進歩と思っている。小山委員から非常に貴重な資料をお借りすることができたことに感謝申し上げる。

事務局に資料の説明を求める。

【堀川センター長】

- ・資料No.2、3、参考資料1により説明

【竹内会長】

今ほどの説明に質疑を求めるがなし。

【竹内会長】

ではDVDを視聴する。

- ・DVD視聴

【竹内会長】

貴重な映像を見ることができた。初めて見る委員も多いと思うので、一言ずつ感想を伺う。

私としては、この「春駒」について、手がけ始めたころは音源等がなく資料とか写真しかなかった。今回ビデオ化されたもの初めて見た。非常に感動している。母は、90歳になるが、90年間三郷区に住んでいるが、地域が違うため聞いてはいたが、実際に結婚式に行ってみるとか、そういったことはなかったと言っていた。やはり限られた地域で、続けてこられたというところだと思う。資料にもあった通り、昭和30年代40年代にも伝承することに苦勞してきたという記事が書いてあった。今回我々が手がけることは非常に意味があると感じている。

【伊藤副会長】

私も西松野木であるが、私の子どもがやっていたのかもしれないが、よくわかっていなかった。今回初めて映像を見させてもらった。大切な地域の文化財なので、なるべく地区の宝にして残して行けたらと思う。どのように伝承していくかを皆さんと協議していきたい。また、資料なども集めていきたい。

【市村委員】

子どもが「春駒」を文化祭の時に発表しているのを見て、こんな踊りだったと改めて思った。この無形文化財の「春駒」を伝承すること自体は、すごく良いことだと思うが、地域協議会の目的である地域の発展に良いとか、活力・人口減少にどうつなげていくのかということがすごく難しいと感じた。どのようなゴールにするのかという設定もとても大事だと思う。「春駒」を伝承するとともに、どのように地域の活力、人口減少につなげていっていかのかという観点も含めて考えていかなければいけないと感じた。

【伊藤光夫委員】

今日初めて見た。先回の会議で、実際に踊って見せていただける方がもういないという話も聞いて、この後どうやって伝承していくのかと思っていた。実際に踊っているものがあると、時間はかかるかもしれないが協議して地域協議会の役員だけでも実際に体を動かしてみる。或いは年配の方で何か参考になる方がいれば一緒にやっていただく。最初から大きく広がっていかないと思うが、地域協議会を重ねて、伝承について少しでも地域の中に、浸透していくような議論ができればと思う。

【小山委員】

私の家にこの資料などが全て保存されていた。実際、祖母が教えていた時点で、教える人が少なくなってきていた。高齢になり自分が動けなくなってしまった時に、どうやって伝えていくか、すごく不安がっていた。その後、息子が「自分が覚えているよ」と言って、本人が専門学校に通っていたときは、小学校に来て教えてくれていた。しかし、今は就職により教えに来ることができなくなってしまった。

私には4人の子どもがいるが、実際4人のうち3人は「春駒」を文化祭の時に発表した。担任の先生によっては、「春駒」まで行き着かずに、踊りをしなかった学年もある。去年は、コロナの影響で、文化祭がなかったので教えてくださいという話もなかった。先生の頭の中には教えて欲しいというのはあったらしいが、コロナの影響で機会も失ってしまった。この伝承も、もう日々踊れる方達の高齢化が進んでいるので、早急に伝承の形がとれていければいいと思う。

地域協議会で取り上げてもらえたのは良かった。この資料をどうしようかと思っ

ていたので、こういう日の目が見られて良かった。皆さんにもっと「春駒」を知ってもらえるきっかけになればいいと思う。

【荏戸委員】

「春駒」のことは全く知らなかった。実際踊れる方も数人しかいないという話しであるが、継承していくには時間もかかると思う。歴史も長いということで、踊りと歌とセットで大切に、長く継承することができればよいと思う。

【平田清委員】

「春駒」というのは初めて見た。全く知らなかった。踊っているところだけがDVDの形で残っているが、人に教えることができるようなDVDやデータで残すことができればと思う。形だけで心が入っているわけではないが、DVDを見ながら残せると思った。

【平田伸一委員】

DVDを見て、「春駒」を残すことについては総論で賛成である。今やらなきゃいけないという時期的なものを感じる。問題は、その各論として具体的に何をやっていくのかというのがよく見えない。残し方もいろいろあると思う。一つの方法としては、松波会を地域で再興してもらおう。それともビデオや書物などできちんと記録として残していく。そういう着地点が見えない。これは、地域協議会の場で相談しながら、或いは地域の方々のご意見・意向を聞いてということだと思ふ。そういう意味でどう関わったらいいのか、正直よくわからない状態である。

ビデオを見た中では、踊る人たちの名前に四ツ屋の人が3人ぐらいた。そのうち、1人の方はしっかりしている方で、教えてもらうことができるのではないかという感じである。この地域協議会として何をやっていくか、具体的な方向性なりを詰めないで次に進めないという気がする。そういう意味で協議が必要だと思ふ。

【山口委員】

貴重なものを見させてもらった。今いろいろと話が出ているが、なかなか着地点をどうするかということである。三郷小学校に協力依頼した中で、そこから広がり方、残し方の方策を考えていければいいかと思う。そのための自主的審議だと思っている。回を重ねて、より良い方向にモチベーションを高めていければいいかなと

思っている。

【吉田委員】

今回のビデオ等を通じて、小学校とか中学校とか、各種行事、地域も含めて少しずつ広めていくきっかけとなればと思っている。

【渡部委員】

本当にすてきな踊りだと思った。でも知らなかった。昔の盆踊りは、三郷小学校で8月15日に行い、あのときに踊ったのは、上越高田音頭、八社五社であった。何故その位置に入らなかったのか不思議である。八社五社はみんな知っている。そのくらいにならないと、伝えていくのは無理なのかなと思っている。コロナの影響で盆踊りなんてとんでもないという状況になり、本当に伝えるのは難しいと思っている。

小学生は何年やっているのか。すごく長い期間のような気がする。その人たちが踊ったことの記憶はやっぱり残ると思う。それが核になっていくのではないかと思うので、地域みんなでサポートしていければと考える。でも、西松野木と四ツ屋のものみたいに受け止める、意識を取り払わないと伝えていくのは難しいのかなと思った。

【保坂副会長】

孫たちが、「春駒」と言っていたが実際にきちんと見たのは初めてであった。いいものは何らかの形で残しておきたい。その形がどういう形がいいのか、また皆さんで相談しながら知恵を絞りながら、どのレベルまでできるのかというのを相談していければと思っている。

【竹内会長】

委員から貴重な意見を出してもらった。初めて見たという感想も多く、また伝承の難しさも感じたところである。今回、この形の中で取り組んでいくことを皆さんで決定した事項でもある。何らかの形で、伝承の方向に向かって行けばいいと思っている。

今日は「春駒」を知るということで、DVDを見た。次回以降、前々回の会議の中で進めた通り、「春駒」を知る・踊る、最終的には伝承方法を検討する形で進めて

いきたい。また、皆さんの中でデータとか資料等お持ちの方は、提供していただければと思う。また、進め方については正副会長の中で一任していただきたい。

【平田伸一委員】

渡部委員の話で思い出したが、「市の無形文化財のためレコード化できない」という話があって普及させていくことができなかつたと聞いたことがある。

あと、我々の進む方向性として何をやったらいいのか。地元である西松野木と四ツ屋地域の意向もあると思う。そういうことを無視して進めていくことでいいのか。進め方もあるが、どこまで進めるのかという程度もある。地元の保存会がかつてあった。今はないかもしれないが、そういう意向も確認しないといけない。もしかしたら、一緒に動いて行かなければいけない関係なのかもしれないので、そういう方向について考えることも必要ではないか。

【小山委員】

「盆踊りで踊れなかったのか」という話があったが、実際、何もしなかつたわけではなく、「ひより会」にも、「春駒」を踊ってもらえないかをお願いをした。

また、踊りを習っている方々に、「春駒」を覚えてもらえないかというお願いもしていた。どうしてもこの「春駒」は、そういう踊りと踊り方が違ってしまう。踊り方が違うので、なかなか受け入れてもらえなかつたという経緯もあった。やっぱり特殊なのかもしれない。

【竹内会長】

平田伸一委員の言う通り、残すための意向というか、松波会が休会になっているかわからないが、今後、皆さんの中で調べながら進めていくのも一つの審議の方法かと思う。

【市村委員】

小学校とタイアップしていくような話も出ているが、最近の小学校のスタンスとしては、地域と距離をとる方向に動いているようである。よって小学校をあてにするのは危険な気がする。ご存知の方もいると思うが、三郷小学校の合併の話も出ている。そういう中で、学校ありきで考えるのは危険な気がする。学校があるうちはいいが、統廃校の対象になった時も踏まえて、どうしていくのかということも考え

ないといけない。

【竹内会長】

そういう話も耳に入っている。地域協議会の中でも、その辺の対応もしなくてはけない場面があるかと懸念している。小学校の地域との距離については、運動会もそうである。今回も別々にやると決まったような話も聞いている。それを踏まえながら、慎重に動いていかなければいけないところもある。いずれにしても慎重に進めていきたいと思う。

以上で、次第4の(1)の自主的審議事項の「三郷地区の郷土芸能、無形文化財、高麗の伝承について」を終了する。

— 次第4議題(2) 自主的審議事項「三郷地区の公民館の整備について」 —

【竹内会長】

続いて次第4、議題(2)の自主的審議事項「三郷地区の公民館の整備について」に入る。

この件も、まずは地域協議会や振興会の過去の要望の経過を知ることから始めていくことを前回の会議の中で確認していた。資料について事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

- ・資料により説明

【竹内会長】

ただいまの説明について、質疑を求める。

【山口委員】

センター長の方から説明された通りであり、市の財政が厳しいという一言に尽きると思う。

市村委員の話で、これを前面に出していくと、三郷小学校の統合の問題が出てくることを聞いた。それから、直江津地区、板倉区の学校の統合を見ても、統合した後の建物の取り扱いについて、地域住民含めていろいろと模索していると聞いている。以前、名立区に視察した際、素晴らしい建物の隣に統合前の建物が建っていた。

でも、この公民館の建物がある以上は地域住民の方の要望もあるし、地域協議会としても、何らかのアクションをしていかないと地域の皆さんの要望に応えていけなくなってしまう。複合的な面も含めて協議したらいいのではないか。

【竹内会長】

名立区の場合は、素晴らしい施設の横に小学校もあった。再利用については、施設があり、コミュニティプラザがあり、廃校になった小学校もあるという形である。我々も今後いろんな形で考えていかないといけない。

【平田伸一委員】

去年の12月に市に要望書を出して回答はもらっていない。回答はいらないと断った。市の担当にいろいろ話し合う機会を作ってほしいと申し入れをした。その後、アクションはない。

山口委員の話に関連して、小学校が廃校になったらそこに公民館施設を入れるのではないか。体育館もあり公民館の建て替えはなくなる可能性もあって危惧している。学校教育施設から社会教育・社会体育の施設と変えていく市の考えもあるかもしれない。地区公民館は、社会教育を推進する起点だと思うので、地域で活動しようとしたら困り事がいっぱい出てくるはずである。そういうことを真摯に相談してくれるような機能も必要だと思う。ハードだけじゃなくてソフトの部分で、そういう人的なものも整備していかなくてはいけないと思う。

名立区を見学したのは、平成26年、前々期の委員である。そうするとこの中で2人しかいない。立派だと言ってもこのメンバー8人は、新規の委員である。みんなで行って同じ目線で、必要な公民館を考えるための見学が必要ではないか。今までの経過を出されても、何をどうしたいのかが全然見えない。もうちょっと、どうやって具体的に進めていくのかを議論しなくてはいけない。そういう進め方を是非してもらいたい。

【竹内会長】

平田委員のおっしゃる通りである。今後、他の施設の見学・視察も当初の話の中に含まれているので、対応していきたい。

【保坂委員】

小学校の統廃合の話は3月に聞いた。でも、それは近い将来、1・2年先ではない。でも公民館は私たちが毎日使う場所である。その辺を上手に切り分けて考えていかないと、10年15年先、学校がなくなった時の公民館として、小学校の跡地があるのか。

でも今、私たちが使っているこの公民館を少しでもよりよく快適にする。例えば、男女一緒のトイレの公共施設って他に聞いたことがない。私は人権侵害のレベルではないかと思っている。できるだけ公民館へ来た時は、使わないでいいような配慮をしている。全部の建て替えができなくても、少しでも快適に使えるように、みんなが気持ちよく使える公民館でありたいという思いである。

【竹内会長】

小学校が統合され、三郷小学校に全部統合してくるかもしれない。これはまだわからない話である。今後、地域協議会で協議する場面も出てくると思う。それも含めた中で、今ある公民館を意識しながら考えていきたいと思う。

【山口委員】

名立区も含めて、他の近隣のところに見学・研修に行くのは、良い方策だと思う。

市の方は、何かというと、公の施設の再配置計画の中で検討したと回答する。何年もそういう言い方である。いつまでその公の施設の再配置計画の中で検討するのか。或いは、総合的な整備計画の中に盛り込むのか。担当課の方から話を聞いても良いと思う。

この秋に市長選挙もある。今度の市長がどうなるかわからないが、入口から始めていかななくてはいけないと思う。そういったところから聞いてもいいのではないかな。

【平田伸一委員】

再配置計画の件については、すでに去年の3月に市としての方針を出していると思う。要は、三郷地区公民館は他に代替施設もないから、継続して設置していくという方針が出されたと思う。だから、公民館が統廃合されることはまずないと思う。だから次はこれを具体的にどう改修整備してもらおうかという動きだと理解している。

【山口委員】

その通りである。それを踏まえて、どのようにこれを整備していくか、具体的に各論を聞いてもいいのではないかという意見である。

【竹内会長】

公の施設の再配置計画、これは去年の段階で目を通されていると思う。それを踏まえた中で、今後の公民館の整備という形を考えていかなければならないと思っている。

前々回の進め方の中にもあるように、公民館の施設の利用状況を把握して、整備が進まないということになれば、また要望していかななくてはいけない場面も出てくるかと思う。三郷地区の団体とタイアップしながら検討していきたいと思う。

【平田伸一委員】

地域協議会委員になって1年になる。会の運営の仕方として概ね月1で開催されている。その時に、議題なり資料なり整えて出してもらっているが、どんなことを協議するかという中身については、正副会長と事務局で協議をしている。そういう進め方しかできないのか。正副会長や事務局が駄目とかではないが、例えばもう少し詰めて、今日の公民館のことについて話し合うなら、それについてどうしたいのか、どうするのかという具体的な案が何もない。この場でどうしますかという話になってしまう。私個人的には、「春駒」について取り組むのであれば委員がもっとできる範囲で、地域の方々と会ってみんなで分担して地域へ入ってくとか。そういう前を向いて行くのが、この地域協議会かと思った。すべてお膳立てされたものを協議して、ここで意見くださいという形で進めていくのは、違うような気がしている。公が設置した会議である。とんでもない進め方はできないというのは承知しているが、1年やってきてそういう感想を持っている。

【竹内会長】

この後、委員を春駒班、公民館整備班という形で分け、自主的に皆さんから動いていただけるような提案をしたいと思っていた。自ら動いて資料を収集したり、目に見えるような地域協議委員であって欲しいと思う。

皆さんも1年経ったので、地域協議会委員としての自覚を持ちながら月に1回集まればいい、地域活動支援事業の採択を審査すればいいというものでもない。地域

協議会委員は三郷区の議員みたいなものという認識を持ってある程度地域に入り込んで、自主的審議事項の項目に限らず課題等もいっぱいあると思う。地域に入りいろいろな意見を聞いてくることも、地域協議会委員としての動きになると思っている。難しいところがいっぱいあるが地域協議委員としての自覚を持ちながら動いていければと思っている。

【保坂委員】

私は委員2期目である。

月1回、2ヶ月に1回、こういう形で、今年は特にコロナ禍の中で、懇親会もできず、ざっくばらんにいろんな話ができる機会もなく、この場だけということでグループ討議もしながら、皆さんの思いを聞いたりすることも計画した。しかし、常に顔を合わす仲でもないし、コロナの関係で心の距離も結構ある。なかなかコミュニケーションをとるのが難しい時代だと思っている。皆さんがどんなことを考え、どんな思いでこの協議会委員になったのか。自分で進んでの方もいるし、周りの方から声かけられてきている方もいる中で、背景もそれぞれ違うと思う。でも、三郷のために、自分は何ができるかということを考えて参加されている方だと思う。そのために、自分の思いを話せる場をつくることができればいいと思い、春駒班と公民館整備班に分かれて、今までとは違った形で進めていけたらと正副会長と事務局で話をした。

私も前期の1年目は、何かいつも帰る時にもやもやしたものがあつた。2年目になって方向が見えてくると、何となく地域協議会でのいることの意義が自分の気持ちの中で落ちてきたのを感じている。

2年目からはその辺を、ちょっとジャンプしながら、ざっくばらんな話ができ三郷のために話し合っていけたらと思うので、皆さんから協力願いたい。

【竹内会長】

委員を春駒班と公民館整備班で分けて協議することを提案する。全体で、進めるよりも二つに分けて、そのあとで全体会を開いて、報告するような提案をしていきたい。春駒班が伊藤副会長、公民館整備班が保坂副会長というような形で、私はフリーに動ける形をとりたい。皆さんの賛同が得れば、この形でいきたいと思う。

【平田伸一委員】

委員の分け方はどうするのか。希望制か。それとも正副会長で決めるのか。

【山口委員】

それは正副会長で決めてはどうか。今ここで手を上げてもまとまらないのではな
いか。

【平田伸一委員】

私は希望とった方がいいと思う。

【竹内会長】

まず、希望を取らせてもらおう。春駒班を希望する方の挙手を願う。

・春駒班を希望する委員…伊藤副会長、小山委員、平田伸一委員

残りの委員は公民館班でよいか。

【渡部委員】

決められない。

【竹内会長】

本日の希望を考慮して、次回の会議で発表したい。

5月は、地域活動支援事業の審査・採択があるので、自主的審議事項の話はでき
ないが、その中で班分けをさせていただく。

以上で次第4議題（2）自主的審議事項「三郷地区公民館の整備について」を終
了する。

— 次第5 事務連絡 —

【竹内会長】

次第5 事務連絡に入る。事務局より説明を求める。

【堀川センター長】

・次回会議：令和3年5月27日（木）午後6時30分から 三郷地区公民館
（提案件数により時間を早める場合有）

・内容（予定）： 地域活動支援事業の審査・採択

- ・当日配布資料： ウィズじょうえつからのおたより

【竹内会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

本日の議題は全て終了した。

- ・会議の閉会を宣言

1 0 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 0 2 5 - 5 2 2 - 8 8 3 1 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

1 1 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。